営　農　情　報

平成 30 年 12 月

ASIAGAP団体認証を取得　「金色の風」栽培研究会ブランド米部会

JA金色の風栽培研究会ブランド米部会は10月16日、ASIAGAP団体認証を取得しました。団体認証取得に取り組んだことで経営内容の把握ができたことは、経営改善につながる大きな成果だといえます。今後、安全安心の付加価値を付け他産地との差別化を図りながらブランドの確立に努めていきます。

認証取得までのあゆみ

6月15日	農業生産工程管理（GAP）への取り組み提案
8月　1日	県南広域振興局長にASIAGAP取組開始を宣言
12月21日	第1回ASIAGAP研修会（以降、月1回の研修を実施）
3月15日～23日	取り組み農場への事前指導
3月28日	ASIAGAP取組宣言書の提出
6月15日	審査申請書提出 団体名を「JAいわて平泉ブランド米部会」に決定
6月19日～21日	ブランド米部会内部監査
8月23日	認証機関による審査（団体事務局）
8月24日	〃 （規定により抽出された3農場、1農産物取扱施設）
10月16日	ASIAGAP団体認証取得　9農場 県版GAPの認証取得に取り組むブランディング米部会（8農場）は12月の認証取得を目指している

8/24　農場審査の様子

今後の取り組み

- JAファーマーズいわて平泉での「金色の風」PRイベント
- 平成31年ラグビーワールドカップへの食材提供
- 平成32年東京五輪・パラリンピックへの食材提供など

10/16　ASIAGAP団体認証を取得した生産者と関係機関

生産資材ひろば

生産資材価格動向について

生産資材の原料の多くは海外からの輸入に頼っていることから、外国為替・原油価格・海上運賃等々が大きく影響してきます。為替は今年3月の1ドル105円から11月には113円台へと推移し、原油価格も3月比10％以上上昇しています。3月のガソリン価格（全国平均）1㍑136円から、10月価格は154円になり現在も上昇しています。当然、海上運賃も上昇しています。

以上のことを踏まえ、今後の価格の動向をお知らせします。

1. 飼料

10月～12月は、全国全畜種総平均トンあたり約800円値下げとなりました。H29. 10月から連続の値上げで、1年ぶりの値下げとなりました。

31年1月以降の見通しは、現在のコーン、大豆価格が上昇に転じたこと、原油価格の上昇、為替の円安など、現時点では値上げ要素が強く、値下げ要因が見当たらないことから値上りは避けられない状況です。

2. 肥料（H30. 11月～H31. 5月の価格）

H29年用の春肥料は大幅な値下げとなり20年の肥料高騰前と同水準まで引き下げになりましたが、30年春肥価格は前年対比で尿素の約14. 5%をはじめとし、高度化成で6. 4%の値上げとなりした。尿素については、世界最大の輸出国である中国の環境規制強化による減産が大きく影響しており、今後も国際市況は堅調に推移するとみられます。

3. 保温包装資材（不定期）

農業用ビニール・農業用ポリエチレン・農ポリ類、被覆資材は原油を原料としたナフサから製造されますので、原油価格の動向に影響を受けます。原油価格は高水準で推移し、国内原料メーカーは既に今年度、複数回の値上げを実施しており、製品価格に転化されるのも時間の問題です。

段ボール資材についても古紙価格がH28年から高騰し、国内古紙価格も29年より3円/kg値上げされている状況にあり、今後も高い水準で推移すると考えられます。

※年末年始は12月29（土）～1月3日（木）まで休業となります。飼料などは前もってお買い求めいただくようお願いします。